萱瀬☆物語

大村市立萱瀬小学校
学校だより　第２号
令和４年　４月１３日発行　校長　髙以良〇〇

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

祝　入学式！

４月８日（金）、新入生７名が入学してきました。澄み切った青空という自然からの贈り物の下、温かく、和やかな雰囲気の中で、入学式を行うことができました。
一人一人が笑顔で入場し、担任の先生に名前を呼ばれると、みんな「はい！」という元気な返事が返ってきました。
この元気な返事のように、これからの毎日の学校生活を通して、子どもたちは、できることを一つずつ増やしていきます。この成長を見逃すことなく、大人みんなで応援していきたいと思います。
入学式に参加した２年生・６年生の姿も立派でした。
６年生児童や２年生による歓迎の言葉、在校生による弾む心を声いっぱいに表現できた歓迎の歌で、萱瀬小学校全体がお祝いムードに包まれました。さらには、式中の一人ひとりの凛とした態度等が印象的でした。
素晴らしい入学式ができたのは、児童と教職員、そして家族のみなさんが、それぞれの立場で、新入生のこと、学校のことを思い参加してくださったからだと思います。令和４年度の萱瀬小学校は、みなさんの行動を支えに見事にスタートしました。

『入学式で話をさせていただいたこと』

『…………萱瀬小学校を楽しい学校にするために、校長先生が魔法のおまじないを教えます。友達と遊んでいるときに、「ありがとう」というおまじないを唱えると、友達との遊びがもっと楽しくなります。けんかをしたときに「ごめんなさい」というおまじないを唱えると、必ず誰かが助けてくれます。仲直りをする勇気が出ます。「ありがとう」と「ごめんなさい」が素直に言える１年生になってください。

もう一つおまじないがあります。それは、「やさしさ　夢　げん気」です。やさしさを育てるために友達と仲よくしましょう。夢をかなえるために勉強しましょう。元気になるために早寝・早起き・朝ご飯を続けましょう。…………』
子どもたちが悩んだり悲しい思いをしたりしたときに、何とか子どもの力で乗り越えられそうなときは、そっと後ろから見守りたいと思うのです。学校教育の一番の特性は集団生活にあります。子どもたちは、遊んだり、けんかしたり、立ち止まったり、悩んだりしながら、がまんすることや相手の気持ちを思いやることを学んでいきます。
ご家庭や地域の知恵、子どもたちに託される思いに、学校の思いを重ねながら、子どもたちが安全に安心して学べる教育環境づくりに共に努めてまいりたいと思います。